

# 第1回鹿野地域振興未来会議 議事概要

日 時：令和8年4月28日（火） 午後3時～午後5時

場 所：鹿野町総合支所 2階 会議室

## 【出席委員】

三谷裕之、筒井洋平、森村繁一、長谷川誠一、兼平 恵、砂川重雄、上山秀雄、山根裕太、山名 修、田中奏子

以上10名（敬称略）

【欠席委員】 佐々木千代子、津田夏海 以上2名（敬称略）

## 【事務局】

<鹿野町総合支所>

小林支所長、西垣副支所長兼地域振興課長（併教育委員会事務局鹿野町分室長）、  
國森産業建設課長、岡田市民福祉課長、宮本地域振興課課長補佐

【傍聴者】 なし

## 【日 程】

### 1 開会

### 2 委嘱状交付

### 3 会長あいさつ

### 4 議題

（1）8年度総合支所重点・強化施策及び懸案事項及び関係予算について

（資料ダウンロード）

（2）鹿野地域振興未来プラン実施計画の7年度実績及び8年度計画について

（資料ダウンロード）

### 5 報告事項

（1）鹿野城跡公園利用管理協議会の協議内容について（資料ダウンロード）

（2）行事経過報告及び今後の予定について（資料ダウンロード）

### 6 その他

### 7 閉 会

## ◎議事概要

### 4 議題（1） 8年度総合支所重点・強化施策及び懸案事項及び関係予算について

#### <事務局より資料1に基づき説明>

【委員】農政企画課の「ともに目指す担い手強化支援事業」の5,283,000円については、具体的な話があるのか。

【事務局】コンバイン等の購入の話があるようですが、申請はまだこれからです。

【委員】資料1の4ページ、「3. 農地等の保全維持について」に「地域計画」、「4. 地域で活躍する組織・人材の育成・発掘について」に「鹿野地区が取り組むまちづくり計画の改定」とあるが、それぞれどういうものなのか簡単に教えてほしい。

【事務局】地域計画は国が進めている政策で、将来の地域農業の目標を策定した計画です。今後、農業者が減少し農業事業者が限定されていくことを見据え、より作りやすく効率的な農業を目指すとともに、平地に農地を集約し、農地の団地化や圃場の拡大化することを目標とした計画になっています。この計画はインターネットでもご覧になれます。

【事務局】鹿野地区のまちづくりについては、鹿野地区まちづくり協議会「まち普請の会」が主体的に取り組んでいるところですが、発足時に作成したまちづくり計画が20年近く経過し形骸化していることから、地域の下支えや集落の支援につながる計画となるよう、現在、計画や組織体制を見直すための協議が行われています。

【委員】5ページの表の一番下に「街なみ環境整備事業費」とあるが、これはまちづくり計画に関わるものか。

【事務局】これは城下町の各集落で組織している「街なみ協定運営委員会連合会」に対する運営費補助などで「まち普請の会」への補助金ではないですが、鹿野地区の城下町エリアに対するものなので、間接的にまちづくり計画にも関係してくると思います。

【委員】資料の説明を一通り聞いたが、もう少し具体的なイメージができるような説明がほしい。令和6年度から地域計画がスタートしたとあったが、例えば、どのように圃場をまとめ整備をし、現在このような状況になっているとか、あるいは

は農業法人等に大型機械の購入支援をしたとか。資料の文字と数字だけではイメージができない。また、まちづくりについて新たな組織の形が見えるようにしていきたいと説明があったが、具体的にどんな組織をイメージしているのか具体的に教えてほしい。

**【委員】** 地域計画は細やかな計画でなく、残す農地はこのあたりのエリアにするなど、大まかな計画となっています。行政主体で計画を立てるのでなく、事業者や集落が主体となって立てる計画です。最近、集落から受けた相談の具体的な例を挙げると、1反の農地を5反にまとめ、大きな機械を導入し効率化を図るという内容を地域計画として作成し、今後の集落営農の方針にしたいというような相談がありました。

**【委員】** 自分も地域計画の作成に関わってきたが、地域計画がないと国の補助金が出ない。また、計画には耕作放棄地や後継者の有無、大規模農業者への委託などの情報を記した地図がある。私も米作りをしているが3ヘクタールの農地が限度。法面が高い農地は草刈りができないので委託業者から切り捨てられる。効率化を考えると中山間地域での農業は成り立たなくなっており、採算が取れないところに担い手は来ない。耕作放棄地になればシカの被害も出てくる。今の若い人は大変なことまでして農業はしたくない人がほとんどで、農業の担い手がなくなっているのが実情だ。

**【事務局】** こういった課題は農業者だけの問題ではないと思っています。4ページにある「令和8年度に向けた課題・取組み」にも記載していますが、農業者だけでなく地域課題としてとらえて広域で検討する必要があります。農業者だけでは農地の管理ができない場合は、交付金を財源として業者に委託することができますが、そもそも交付金事務ができない集落もあります。令和2年度には高齢化を理由に全国2,000強の団体が交付金事業を断念していますが、農業者以外でも交付金の事務はできるので、例えば地区公民館やまちづくり協議会などに委託することもできます。7年度にはネットワーク化や広域連携型により農地を守る方法が国の新たな方針として示されています。また、勝谷地区が顕著ですが、水路を掃除しないと河川の氾濫が起こります。水が田んぼに溜まっているということは川にすべて流れているということで、治水ができていない状態です。最近では耕作していない田んぼでも水を張る「田んぼダム」と言われ

ている治水対策もあります。

【委員】例えば、まちづくり協議会で農業事務をするという形をとらずに、河川の流れを維持するような活動に取り組むのも一つの方法だと思う。農業だけでなく未来につながるような具体的な施策を紹介してほしい。例えばこんな人がこんなことし始めたとか、未来につながるような施策を積極的にピックアップして紹介するとか、この未来会議が先々大きな流れにつながっていく場にできればいい。

【委員】行政が成功例を分かっていない。他市町のいい取り組みを探して紹介してほしい。

【委員】まち普請の会は、鹿野地区の各団体のまとめ役として、それぞれのサポートしている。各団体が主体的に活動しているが、まち普請の会はあくまでも各団体の活動を支援する組織。これからどんな組織に変えていくかは具体的には決まっていないが、現在、見直しについて協議を行っている。

【事務局】まちづくりの計画や組織体制の見直しについては、まだ目に見えるものは何もないです。組織体制を先行させると組織ありきになってしまうので、まず組織運営するにあたり何をしないといけないのかを洗い出し、それに向けて組織体制を考えることになっています。勝谷・小鷲河地区とも連携を図りながら協議していきたいと思います。

【委員】8年度の桜の適正管理については具体的に未来につながる取り組みと思った。痛々しい姿をさらしている城跡公園の桜に手を付けないと手遅れになると感じていたが、今年度から対策に取り組むということで期待している。

【委員】「グリーンツーリズム推進事業費」に「民泊施設整備に要する経費」とあるが、どのような計画で事業しようとしているのか。

【事務局】取得された建物を民泊施設に改修するために補助申請をしたいと聞いています。

【委員】鹿野町内で民泊事業をしている事業者はあるのか。

【事務局】いんしゅう鹿野まちづくり協議会が本田中家で一棟貸しをしておられます。

【委員】農家の家に泊まりながら農業体験をするのがグリーンツーリズムではないか。

【事務局】旅行者を泊めるだけだとこの補助金は使えませんが、事業内容が補助金にマッチするかどうかは申請書を見てみないとわかりません。

【委員】申請予定者は農業者なのか。

【事務局】農業はされてないように思います。民泊は体験型の宿泊施設ですが、農業以外でも地域の暮らし体験をできるようなタイプもあります。

【委員】事業名が「グリーンツーリズム推進事業費」となっているので、その補助要件にあうような事業内容にする必要があると思う。もしそうでない場合は、要件にあうように市が誘導して、鹿野の魅力を増やしていくような取り組みにつながるようにしてほしい。

【委員】鳥の劇場横の交流広場を鹿野桜まつりの駐車場として利用した。出入口がそれぞれ一つしかなかったので車の動線が分かりやすく、警備員も誘導しやすかった。

【事務局】強風で桜の開花時期が短かったこともあり、来場者数が少なかったように思います。交流広場が舗装や芝生になれば、より来場しやすい環境になります。

【委員】夜桜がテレビ中継されたこともあって、薬研堀の駐車場もいっぱいになっていた。ただし、鹿野祭りについてテレビや新聞の報道が少なかったと思う。もっと鹿野祭りをPRするために、支所から報道機関へPRすることができないのか。

【事務局】市の主催イベントならいいですが、鹿野祭りは神事なので市がPRしづらいです。

【委員】鳥取市の広報番組のいなびぴょんぴょんネットで放送されていた。

【委員】鹿野町観光協会が鹿野桜まつりとあわせて鹿野祭りの告知をレディオバード鳥取で放送した。鹿野祭りをしている人たちは、どんどん見に来てほしいというよりも、見に来る者は拒まないというようなスタンスだと思う。

【委員】小鷲河地区生活交通プロジェクトでは、みんなで共助交通などについて話し合いを進めている。先日、倉吉市小鴨地区の共助交通の取り組みを視察した。小鷲河地区では鹿野バスとの兼ね合いがあるが、できればドアツードアでの買い物や足の不自由な方への支援など、玄関まで迎えに来てくれるような仕組みがいいと思う。

#### 4 議題（2）鹿野地域振興未来プラン実施計画の7年度実績及び8年度計画について ＜事務局より資料2に基づき説明＞

【委員】 目標達成度が未達になっている3つの項目について、原因の認識と今後の対策が具体的にあれば教えてほしい。

【事務局】 介護予防教室については、令和7年度の目標参加者14人に対し平均9.1人となりました。このうちストレッチ教室では30人を超えるような日もありましたが、平均すると目標に達しませんでした。引き続き支所だよりやチラシ配布などによる周知を行いますが、いい事業だという口コミが広がるようにできればと考えています。

【事務局】 「ソーシャル・コミュニティビジネス等の支援・促進」について、イベント等での出店は盛り上がりましたが、開業に対する支援ができていなかったため、令和8年度は重点的に取り組んでいきたいです。また、津和野との交流事業が途絶えた状態になっていますので、津和野と連絡を取りながらいい交流事業ができればと思っています。

【委員】 ちょうど年度が替わったところなので、津和野との交流については早めにボールを投げかけるなど積極的に動いていただきたい。

【委員】 津和野は森鷗外をテーマにした観光振興を進めており、ゆかりのある東京のどこかの区と積極的に交流しているとテレビで報道していた。そういったこともあって鹿野との交流の予算が少なくなっているのかもしれない。

【委員】 介護予防教室参加者の目標値が10人から14人になっているが、目標値の算出根拠はあるのか。この教室の3種類である必要があるのか。また、鹿野そばや鹿野地鶏はどのようなブランディングをしていて、どのような状態がいい状態なのか知りたい。また、伝統芸能の予算額が前年度決算額に対し1割程度になっているがどういうことなのか。

【事務局】 介護予防教室参加者の目標値については、令和6年度までコロナ禍だったということもあり、コロナ禍前である令和2年度以前の平均参加者14人を目標値にしています。新しい教室をする方法もありますが、まずは今の3つの教室の参加者を増やしていきたいと考えています。

【事務局】 鹿野そばは「株式会社ふるさと鹿野」、鹿野地鶏は「株式会社鹿野地鶏」が主体となり、それぞれ事業に取り組んでいます。鹿野そばは耕作放棄地の減少も目的の一つとしています。最近では「鹿野そば処」がInstagramでPR

しており、今後も町内飲食店で鹿野そばを使った料理を出していただけるように働きかけていきたいです。また、鹿野地鶏は生産数が頭打ちの状態なので、生産拡大について県と協議しながら事業を推進していきたいと思いを。

【委員】そばの生産量は頭打ちなのか。

【事務局】そばについては消費量より生産量が上回っている状況です。

【委員】ふるさと鹿野に頑張ってもらえないのか。

【事務局】そばは各地で生産しているので競合してしまいますが、認知度が低いとより厳しくなります。ふるさと鹿野以外の飲食店や町外飲食店などにもそばを使ってもらい消費量を増やし、認知度も高めていきたいです。

【委員】「伝統芸能・伝統行事等の維持・継承」について、予算額が決算額に対してかなり下がっているように見えますが、令和7年度決算額は城跡公園の交流拠点整備費が入っているのだからかなり高い額になっています。令和8年度予算にはその分が入っていないので大幅な減額となりました。

【委員】全ての事業を継続して頑張ることができればいいが、場合によっては事業を見直しスクラップすることも必要だと思う。

【委員】予算を要求するのは10月か11月ぐらいだと思うが、それまでに行政が不要と考える事業について未来会議で提案し、意見をもらえばいいのではないかと。前に進むために不要な事業は切ることも必要。

【委員】事業をやめて新しい事業の予算が付けばいいが、付かない可能性もある。

【委員】不要な事業をやり続けるのも問題だ。

## 5 報告事項（1）鹿野城跡公園利用管理協議会の協議内容について

### <事務局より資料3に基づき説明>

委員からの質問・意見等、特になし

## 5 報告事項（2）行事経過報告及び今後の予定について

### <事務局より資料4に基づき説明>

【委員】11月8日に第5回鷲峯山麓ハーフマラソンを開催できるよう準備を進めてい

る。昨年と同じ規模で開催予定なので、ぜひ皆さまにもご協力をいただきたい。

【委員】鹿野ふるさとミュージカルの舞台で使う米俵と大八車を探している。心当たりのある方がいれば教えてほしい。

## 6 その他（1）について

【委員】鹿野地域の振興についてより多くの意見や提言をしていきたいと思っている。

これは要望となるが、今回の市長選で現市長は絶対得票率が18パーセントだった。5人に1人未満しか信任されていないので、そのことを理解したうえで、市民の意見や要望を充分くみ取って市政運営をしていただきたいと思う。